

## 議員辞職・他のヤジ追及ふれない決議

# 自公提案、共産以外が同調

## 都議会ヤジ

女性議員（みんなの党）に対し、女性の尊厳を踏みにじるやじ発言（18日）に厳正な対応ができるのかどうか、問われている東京都議会。25日の最終本会議で、日本共産党は議員辞職を求める決議案を提案しましたが、

「自公提案、共産以外が同調」という状況が、吉原修議運委員長と発言した鈴木章浩議員（当時自民）一人の問題で終わらせることができないと強調。一方、自・公の決議案は、今回のやじを「人権侵害と言われかねない」とあいまいな表現でごまかし、議員辞職も他の発言者の責任追及もふれないという内容です。



動議を求めて議長席に詰め寄る大山とも子議員＝25日、都議会本会議

た謝罪。同党は鈴木議員に対して除名処分ではなく、自民党籍を残したまま会派離脱を認めるなどかばい続けました。

吉原修幹事長は23日の会見で、「自分が産んでから」などのやじが自民党席周辺からでたと指摘されたにもかかわらず、「発言を聞いた議員は一人もいない」などと疑惑隠しに終始しました。

みんなの党と民主党は、議員辞職は求めない決議案を提案（否決）する一方で、自民・公明案にも共同提案者となり、共産党案には反対しました。

（岡部裕三）